

川田忠明さん（日本共産党訪米団）に聞く

「核兵器も外国軍基地もない世界をめざして—日本共産党訪米代表団の成果—」

京都学研会の学習会（6月10日）に是非ご参加ください

いま国政をめぐるのは、米軍普天間基地の「移設」が大きな争点となっています。また、国際社会では、核不拡散条約（NPT）再検討会議が開催され、「核兵器のない世界」をめざす動きが促進されようとしています。このようなもとで日本共産党は、志井和夫委員長を団長とする訪米団を派遣し、基地のない沖縄と、核兵器のない世界を求める国民の声を伝えました。

京都の学者・研究者日本共産党後援会（京都学研会）では、訪米団の一員として参加した川田忠明さんをお招きして、以下の要領で学習会を開催することとなりました。ぜひ多数の皆様にご参加いただきますようお願いいたします。

日時：2010年6月10日（木）18時30分～20時30分（予定）

場所：ハートピア京都 4階 第5会議室（京都府立総合社会福祉会館、電話：075-222-1777）

※ 京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅下車5番出口（地下鉄連絡通路にて連結）

内容：川田忠明さん（日本共産党平和運動局局長）

「核兵器も外国軍基地もない世界をめざして—日本共産党訪米代表団の成果—」

【川田さんの略歴】 現在、日本共産党中央委員で平和運動局局長。日本原水協担当常任理事、日本平和委員会常任理事、日本平和学会会員でもある。1982～84年、全日本学生自治会総連合（全学連）委員長、1991～95年、日本民主青年同盟（民青同盟）委員長。

さて、6月24日告示、7月11日投票（予定）で参議院選挙がたたかわれます。

昨年8月の衆議院選挙では、国民の民意は自公政権を倒し、新しい政権を誕生させました。しかし、民主党を中心とした新政権は部分的には国民の要求にもとづいた政策を実行しながらも、「政治とカネ」の問題や普天間基地の問題で見られるように、これまでの自公政権と変わらない様相を呈するようになっています。消費税についても、増税を推進する方向が明確になりつつあります。

わたしたちは、このような問題の根底には、「大企業の言いなり」と「アメリカ追従」の政治があると考えています。今年、現行の日米安保条約に改定されてからちょうど50年の節目の年です。日米安保条約を破棄し、非同盟、中立の日本をつくっていくことが、切実に求められています。

日本共産党の躍進で、日本の異常な政治のあり方を抜本的に改革していきたいと考えるものです。参議院選挙での日本共産党の躍進を実現するために、学習会へのご参加とあわせ、以下のお願いをさせていただきます。

◇周囲の方に、「比例代表は日本共産党」と「選挙区は日本共産党の候補者（京都は成宮まり子さん）」の支持を広げてください。

◇選挙の財政を支えるために、募金にご協力ください（同封の郵便振替用紙をご利用ください）。

是非お力添えをいただきますようお願いいたします。

【御礼】 京都学研会では、先の京都府知事選挙に際しまして、民主府政の会が推薦する門ゆうすけさんの勝利をめざし支持拡大と選挙募金へのご協力をお願いをさせていただきました。残念ながら門さんの勝利はなりませんでしたが、「いのちの平等」という門さんの訴えは、大きな反響を生んだものであると確信しています。選挙募金については、30人以上の方から合計で約25万円の浄財をお寄せいただきました。支持拡大を含め、ご協力いただきましたみなさまには、心より御礼申し上げます。

2010年5月

京都の学者・研究者日本共産党後援会
事務局長 生田 勝義